

令和4年度

1年

普通科

シラバス

園芸高等学校

国語

1年現代の国語\_R4 シラバス.....1

1年言語文化\_R4 シラバス.....4

数学

1年数学 I\_R4 .....10

理科

1年生物基礎\_R4 シラバス .....17

英語

英語1年コミュニケーション I\_R4 シラバス.....22

保健体育

1年保健\_R4.....29

1年女子体育\_R4.....32

1年男子体育\_R4 .....36

芸術

1年美術 I\_R4 シラバス.....40

1年音楽 I\_R4 シラバス.....45

学校番号	3001
------	------

令和4年度 国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「高等学校 現代の国語」 (第一学習社出版)						
副教材等	新版 チャレンジ常用漢字 (第一学習社出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。</li> <li>・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。</li> <li>・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場にあふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。</li> <li>・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。</li> <li>・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。</li> <li>・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。</li> </ul>
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話す・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。</li> <li>・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。</li> </ul>	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

1年現代の国語\_R4 シラバス

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	文章で表現する方法を学ぶ [教材] ・書き方の基礎レッスン	a:表記・表現のルール、接続表現の種類や用法、比喩などの表現技法を理解している。 b[書]:文章の事柄が的確に伝わるように、表現の工夫をしている。 c:学んだ知識をもとに、文章における工夫をしようとしている。	記述の確認及び分析	記述の確認及び分析	行動の観察及び記述の確認
	話して伝える方法を学ぶ [教材] 「スピーチで自分を伝える」	a:正しい語彙、表現の仕方をしている。 b[話/聞]:聞き手の理解が得られるよう、表現の工夫をしている。 c:話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。	記述の確認及び分析	行動の観察、発表	行動の観察
	評論の内容を理解するⅠ [教材] 「水の東西」 「『生きもの』として生きる」	a:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。 b[読]:対比の表現などに注目し、異なる立場から読みを深めている。 c:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。	小テスト、定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
二学期	話して伝える方法を学ぶⅡ [教材] 「理想の修学旅行をプレゼンする」 「論理的な表現」	a:正しい語彙、表現の仕方をしている。 b[話/聞]:効果的に話し、的確に聞き取るために、さまざまな工夫をしている。 c:話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。	記述の確認及び分析	行動の観察、発表	行動の観察
	小論文 [教材] 「社会に対する意見文を書く」	a:表記・表現のルールを理解している。 b[書]:読み手の理解が得られるよう、まず要旨を的確に伝え、その後、自分の主張を書くことができている。 c:書く内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。	記述の確認及び分析	記述の確認及び分析	行動の観察
	評論の内容を理解するⅡ [教材] 「『本当の自分』幻想」 「フェアな競争」 「ものごとことば」	a:言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。 b[読]:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。	記述の確認と分析及び定期考査	記述の確認と分析及び定期考査	行動の観察及び記述の点検

1年現代の国語\_R4 シラバス

		c:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。			
三 学 期	要旨を的確に捉え、表現する	a:正しい語彙、表現の仕方をして いる。 b[話／聞]:効果的に話し、的確に聞き取るために、さまざまな工夫をしている。 c:話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。	記述の確認 及び分析	行動の観 察、発表	行動の観察
	[教材] グループ発表				
	小論文Ⅱ	a:正しい語彙、表現の仕方を使っ ている。 b[書]:読み手の理解が得られるよ う、論理の構成や表現の仕方を工 夫している。 c:以前学習した読み手が理解しや すい表現の仕方を、使用し工夫し ている。	記述の確認 及び分析	記述の確認 及び分析	記述の確認 及び分析
	[教材] 小論文				
評論の内容を理解するⅢ	a:言語が個人や社会の中で果たし ている役割について理解してい る。 b[読]:文章の構成や展開を確かめ、 文章の内容にふさわしい文体や語 句、表現の技法が用いられている かどうかを考察している。 c:文章の構成や展開を確かめ、文 章の内容にふさわしい文体や語 句、表現の技法が用いられている かどうかを考察しようとしてい る。	記述の確認 と分析及び 定期考査	記述の確認 と分析及び 定期考査	行動の観察 及び記述の 点検	
[教材] 「ロビンソンの人間と自然」					

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ b ]について…括弧内には[ 話／聞、書、読 ]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … ( 20 ) 時間
- ・書くこと … ( 30 ) 時間
- ・読むこと … ( 20 ) 時間

学校番号	3001
------	------

令和4年度 国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「言語文化」 (大修館書店)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために古文漢文の基本事項（歴史的仮名遣い、文語文法、訓点、訓読）をしっかりと身に付けてください。</li> <li>・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。</li> <li>・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。</li> <li>・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。</li> <li>・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。</li> <li>・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。</li> </ul>
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	現代に生きる漢文を理解し、漢文のきまりを身に付ける [教材]論語・孟子 訓読のきまり①返り点の種類と用法 訓読のきまり②再読文字の種類と用法 訓読のきまり③主な助字の種類と用法	<p>a:・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>・漢文の世界に親しむために、漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解している。</p> <p>・解釈するために作品や文章の成立した歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。</p> <p>b[読]:・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を理解して、内容を解釈している。</p> <p>・作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>b[書]:・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。</p> <p>・古典や現代の日本に与えた影響を他の作品などを読み比べたり、比較して評論する。</p> <p>b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。</p> <p>c:・言語文化の担い手として a や b を主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。</p> <p>・漢文の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に活かそうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小試験</li> <li>・定期試験</li> <li>・学習プリントの取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業プリント</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシート</li> <li>・感想プリント</li> <li>・ノート記述</li> <li>・授業中態度</li> </ul>
	<p>故事成語の内容を理解し、漢文のきまりを深く使いこなす</p> <p>[教材]臥薪嘗胆(十八史略)</p>	<p>a:・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>・漢文の世界に親しむために、漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解している。</p> <p>・解釈するために作品や文章の成立した歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。</p> <p>b[読]:・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を理解して、内容を解釈している。</p> <p>・作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小試験</li> <li>・定期試験</li> <li>・学習プリントの取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業プリント</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシート</li> <li>・感想プリント</li> <li>・ノート記述</li> <li>・授業中態度</li> </ul>

※令和4年度以降入学生用

	<p>b[書]:・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。</p> <p>・古典や現代の日本に与えた影響を他の作品などを読み比べたり、比較して評論する。</p> <p>b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。</p> <p>c: ・言語文化の担い手として a や b を主体的に取り組み、その学びを自己調整し、発展させている。</p> <p>・漢文の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に活かそうとする。</p>			
<p>滑稽話の内容を理解し、古典のきまりを身に付ける</p> <p>[教材]宇治拾遺物語 児のそら寝</p>	<p>a:・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。</p> <p>b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる</p> <p>∴作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。</p> <p>・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して評論する。</p> <p>・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。</p> <p>b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。</p> <p>c: ・言語文化の担い手として a や b の学習活動を主体的に取り組み、その学びを自己調整し、発展させている。</p> <p>・古文と現代のさまざまな文化や考え方の繋がりや教訓を理解しようとしている。</p>	<p>・小試験</p> <p>・定期試験</p> <p>・学習プリントの取組</p>	<p>・授業プリント</p> <p>・定期試験</p>	<p>・振り返りシート</p> <p>・感想プリント</p> <p>・ノート記述</p> <p>・授業中態度</p>
<p>日本文化の伝統を理解し、古典とのつながりを意識する。</p> <p>[教材]徒然草 をりふしの移り変はるこそ</p>	<p>a:・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。</p> <p>b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる</p> <p>∴作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。</p> <p>・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して評論する。</p> <p>・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。</p>	<p>・小試験</p> <p>・定期試験</p> <p>・学習プリントの取組</p>	<p>・授業プリント</p> <p>・定期試験</p>	<p>・振り返りシート</p> <p>・感想プリント</p> <p>・ノート記述</p> <p>・授業中態度</p>



※令和4年度以降入学生用

	<p>b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。</p> <p>c:・言語文化の担い手として a や b の学習活動を主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。</p> <p>・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。</p>			
<p>妖怪話の内容に親しみ、現在とのつながりを意識し、古典のきまりを身に付ける</p>	<p>a:・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。</p>	<p>・小試験</p> <p>・定期試験</p>	<p>・授業プリント</p>	<p>・振り返りシート</p>
<p>[教材]伊勢物語 芥川</p>	<p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。</p> <p>b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる</p> <p>∴作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。</p> <p>・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらと比較して評論する。</p> <p>・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。</p> <p>b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。</p> <p>c:・言語文化の担い手として a や b の学習活動を主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。</p> <p>・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。</p>	<p>・学習プリントの取組</p>	<p>・定期試験</p>	<p>・感想プリント</p> <p>・ノート記述</p> <p>・授業中態度</p>
<p>恋愛話から当時の恋愛事情を理解し、古典のきまりを身に付ける</p>	<p>a:・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。</p>	<p>・小試験</p> <p>・定期試験</p>	<p>・授業プリント</p>	<p>・振り返りシート</p>
<p>[教材]伊勢物語 筒井筒</p>	<p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。</p> <p>b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる</p> <p>∴作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。</p> <p>・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらと比較して評論する。</p> <p>・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。</p> <p>b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。</p> <p>c:・言語文化の担い手として a や b の学習活動を主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。</p>	<p>・学習プリントの取組</p>	<p>・定期試験</p>	<p>・感想プリント</p> <p>・ノート記述</p> <p>・授業中態度</p>

2

※令和4年度以降入学生用

		・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。			
旅の意識を理解し、古典に親しむ。		a:・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。	・小試験 ・定期試験 ・学習プリントの取組	・授業プリント ・定期試験	・振り返りシート ・感想プリント ・ノート記述 ・授業中態度
[教材]土佐日記 門出		・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 b[書]:・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる :・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらと比較して評論する。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c:・言語文化の担い手として a や b の学習活動を主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。 ・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。			
栄枯盛衰のわびしさを理解し。古典の作品に親しむ		a:・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。	・小試験 ・定期試験 ・学習プリントの取組	・授業プリント ・定期試験	・振り返りシート ・感想プリント ・ノート記述 ・授業中態度
[教材]おくの細道 平泉		・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 b[書]:・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる :・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらと比較して評論する。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c:・言語文化の担い手として a や b の学習活動を主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。 ・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。			
現代に生きる古典作品を理解し、古典への親しみを深める	3	a:・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。	・小試験	・授業プリント	・振り返り

※令和4年度以降入学生用

<p>[教材]羅生門 『今昔物語集』卷第二九第一八</p>	<p>・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c:・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。</p>	<p>・定期試験 ・学習プリントの取組</p>	<p>ント ・定期試験</p>	<p>シート ・感想プリント ・ノート記述 ・授業中態度</p>
-----------------------------------	--	-----------------------------	---------------------	--

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[ 話／聞、書、読 ]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … ( 10 ) 時間
- ・書くこと … ( 10 ) 時間
- ・読むこと … ( 50 ) 時間

学校番号	3001
------	------

令和4年度 数学科

教科	数学	科目	数学 I	単位数	3 単位	年次	1 年次
使用教科書	最新 数学 I (数研出版)						
副教材等	パラレルノート 数学 I (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。</li> <li>・毎回「目標」を提示し、ただ問題を解くだけでなく疑問に思うことや質問項目などをノートにまとめましょう。</li> <li>・授業はノート学習及び配布するプリントで行い、授業ごとに提出してもらいます。板書をするだけでなく、先生の言ったことを理解出来るように努めましょう。</li> <li>・問題集は定期考査ごとに提出してもらいます。日頃から学習を行い、定着に努めましょう。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

<p>数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基礎的な知識や技能を習得する。 また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学の良さを認識するとともに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とする。</p>
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

※令和4年度以降入学生用

観 点 の 趣 旨	<p>数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>	<p>命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりなどに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

#### 4 学習の活動

学 期	単 元 名	学 習 内 容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和4年度以降入学生用

一学期	数と式	<p>数と式</p> <p>a: ・ 同類項をまとめて、多項式を降べきの順に整理することができる。          ・ 多項式の加法・減法は、同類項をまとめることによってできることを理解している。          ・ 展開の公式を用いて、式を展開することができる。          ・ 因数分解の公式を用いて、式を因数分解できる。</p> <p>b: ・ 式の展開は分配法則を用いれば必ずできることを理解できる。          ・ 複雑な式の展開について、式の工夫の仕方を判断して式を展開することができる。</p> <p>c: ・ 展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする。          ・ 式の特徴に着目して複雑な式の因数分解に取り組もうとする。</p>	定期考査 確認テスト 発言 発表	定期考査 確認テスト ノート 発表	発表 発言 ノート レポート
	実数	<p>a: ・ 有理数と無理数の違い、および実数について理解している。          ・ 平方根の意味・性質を理解している。          ・ 平方根を含む式の計算ができる。</p> <p>b: ・ 自然数、整数、有理数、実数の各範囲で、四則計算について閉じているかどうかを考察できる。          ・ 平方根の性質、平方根の積と商などについて、一般化して考察できる。</p> <p>c: ・ 今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。</p>			

※令和4年度以降入学生用

	1次不等式	<p>a: ・不等式の意味を理解し、数量の大小を不等式を用いて表すことができる。          ・不等式の性質における不等号の向きを判断することができる。          ・不等式の性質、1次不等式の解法を理解し、1次不等式を解くことができる。          ・連立不等式の解を、数直線を用いて表示し、解を求めることができる。</p> <p>b: ・不等式の性質を、数直線と対応させて考察できる。          ・身近な問題に対し、適切に変数を定め、1次不等式で表現できる。</p> <p>c: ・不等式の性質から、1次不等式の解法を考察しようとする。          ・身近な問題を、1次不等式を用いて解決しようとする。</p>	定期考査 確認テスト 発言 発表	定期考査 確認テスト ノート 発表	発表 発言 ノート レポート
集合と命題	集合と命題	<p>a: ・集合を { } を用いて表すことができる。          ・部分集合、空集合、2つの集合の包含関係を理解している。          ・命題の真偽を、集合や反例などを用いて判定することができる。          ・必要条件、十分条件の意味を理解している。</p> <p>b: ・ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。          ・命題が偽であることを示すには、反例を1つあげればよいことが理解できている。</p> <p>c: ・条件を満たすものの集合の包含関係が、命題の真偽に関連していることに着目し、命題について調べようとする態度がある。          ・<math>\sqrt{2}</math>が無理数であることの証明に興味・関心をもつ。</p>			

二期 期	2 次 関 数	2 次 関 数 と グ ラ フ	<p>a: ・ <math>y = f(x)</math>や<math>f(x)</math>の表記を理解しており、関数の値<math>f(a)</math>を求めることができる。</p> <p>・ 2次関数 <math>y = ax^2</math> ・ <math>y = ax^2 + q</math> ・ <math>y = a(x - p)^2</math> ・ <math>y = a(x - p)^2 + q</math>のグラフの頂点、軸についてそれぞれ理解している。</p> <p>・ <math>y = ax^2 + bx + c</math>を<math>y = a(x - p)^2 + q</math>の形に変形し、そのグラフをかくことができる。</p> <p>・ 定義域が限られた場合において、2次関数の最大値、最小値を求めることができる。</p> <p>b: ・ 関数を表、式、グラフによって考察することができる。</p> <p>・ 2次関数 <math>y = ax^2 + q</math> ・ <math>y = a(x - p)^2</math> ・ <math>y = a(x - p)^2 + q</math>のグラフの特徴をそれぞれ考察することができる。</p> <p>・ 2次関数が最大値または最小値をもつことを、グラフを使って、理解しようとする。</p> <p>c: ・ 関数が与えられたとき、そのグラフをかこうとする。</p> <p>・ 一般の2次関数 <math>y = ax^2 + bx + c</math>について、頂点の座標を考察しようとする。</p> <p>・ 2次関数の決定条件に興味、関心をもち、考察しようとする。</p>			
	2 次 方 程 式 と 2 次 不 等 式	<p>a: ・ 因数分解を用いて、2次方程式を解くことができる。</p> <p>・ 解の公式を用いて、2次方程式を解くことができる。</p> <p>・ 2次方程式の解の個数が判別式<math>D = b^2 - 4ac</math>の符号によって決まることを理解している。</p> <p>・ 2次関数のグラフと<math>x</math>軸との共有点の<math>x</math>座標を求めることができる。</p> <p>・ 2次関数のグラフと、2次方程式の関係を理解している。</p> <p>b: ・ 2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。</p> <p>・ 2次関数のグラフと<math>x</math>軸の共有点の個数や位置関係を、<math>D = b^2 - 4ac</math>の値から考察できる。</p> <p>c: ・ 2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。</p> <p>・ 1次関数のグラフと1次不等式の関係から、2次不等式の場合を考えようとする。</p> <p>・ 身近な問題を、2次不等式を用いて解決しようとする。</p>				



※令和4年度以降入学生用

図形と計量	三角比	<p>a: ・三角比は、直角三角形の辺の比であることを理解している。</p> <p>・直角三角形において<math>\sin A</math>、<math>\cos A</math>、<math>\tan A</math>の値を求めることができる。</p> <p>・三角比を使って、距離や高さを求めることができる。</p> <p>・鈍角も含めて三角比の相互関係を用いて、三角比の1つの値から残り2つの三角比の値を求めることができる。</p> <p>b: ・直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし、具体的な事象を三角比の問題として見るができる。</p> <p>・座標を用いた鈍角の三角比の定義を理解している。</p> <p>c: ・直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし、具体的な事象を三角比の問題として見るができる。</p>			
	正弦定理・余弦定理	<p>a: ・正弦定理における<math>A = B = C = D</math>の関係を適切に処理できる。</p> <p>・正弦定理を用いて三角形の外接円の半径や辺の長さを求めることができる。</p> <p>・余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。</p> <p>・2辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積を求めることができる。</p> <p>b: ・三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。</p> <p>c: ・正弦定理の図形的意味を考察する。</p> <p>・余弦定理の図形的意味を考察する。</p>			

※令和4年度以降入学生用

三学期	データの分析	データの分析	<p>a: ・度数分布表について理解し、度数分布表からデータの特徴を読み取ることができる。          ・データを度数分布表に整理することができる。また、度数分布表をヒストグラムで表すことができる。          ・平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。          ・四分位数の定義を理解し、それを求めることができる。          ・データの分布と箱ひげ図の関係について理解している。          ・偏差、分散、標準偏差の定義とその意味を理解している。          ・散布図、相関表を作成することができる。</p> <p>b: ・四分位範囲を求め、データの散らばり具合を比較することができる。          ・箱ひげ図をかき、データの分布を比較することができる。          ・標準偏差によって、データの平均値からの散らばり具合を比較することができる。          ・散布図、相関表を作成し、2つの変量の間          の相関を考察することができる。</p> <p>c: ・データの散らばりの度合いをどのように          数値化するかを考察しようとする。          ・相関関係の大きさを数値化する方法を考          察しようとする。</p>	定期考査 確認テスト 発言 発表	定期考査 確認テスト ノート 発表	発表 発言 ノート レポート
-----	--------	--------	--	---------------------------	----------------------------	-------------------------

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※令和4年度以降入学生用

学校番号	
------	--

令和4年度 理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	新編	生物基礎	(数研出版)				
副教材等	新編	生物基礎	準拠サポートノート	(数研出版)			

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

「生物基礎」では身近な生物や生物現象に疑問を持つことが、学習のスタートになります。地球上の生物は動物、植物、微生物と様々存在しますが、それら生物には何らかの共通する点があります。それは何か、ということを考えることが大切です。初めは、慣れない専門用語が多く出てきますが、少しずつ学習を進めることで、生命への理解が深まると思います。学習方法としては、教科書をよく読み活用しましょう。

2 学習の到達目標

生物や生物現象にかかわり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。①日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。②観察実験などをおこない、科学的に探究する力を養う。③生物や生物現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と声明を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

※令和4年度以降入学生用

観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物や生物現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身に着けている。</li> <li>・自然界の様々な事象を科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物学的な方法で、生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を科学的にとらえられる。</li> <li>・生物現象について探求する場合に、それらを個々のレベルで分析すると同時に、総合にとらえ、それを表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物や生物現象を通して自然に対する関心や探求心を持ち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、見通しを持った振り返りをするなど科学的に探求しようとする。</li> </ul>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学 習 内 容	単 元 (題 材) の 評 価 規 準	評 価 方 法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学 期	生 物 の 特 徴	生物の共通性と多様性	<p>a: 様々な生物の比較に基づいて生物の共通性と相違点を見出して理解すること。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて説明できる。</p> <p>b: 細胞が生物の基本的構造であることを、生物学的な視点から考察することができる。</p> <p>c: 多様な生物を比較・観察することで、生物の共通性と多様性について見だし、理解しようとしている。</p>	定期考査 小テスト 行動観察 発言 発表	発言 発表 小テスト 定期考査 レポート課題	行動観察 発言 発表 レポート課題 振り返りシート
		エネルギーと代謝	<p>a: 生命活動にエネルギーが必要であり、生物は呼吸や光合成から得ていることを理解している。また、生体内で起こる化学反応は酵</p>			

※令和4年度以降入学生用

		呼吸と光合成	<p>素が触媒していることを理解している。</p> <p>b:生命活動に必要なエネルギーを呼吸や光合成と関連づけて考察し、それを表現できる。</p> <p>c:生命活動に必要なエネルギーを、光合成や呼吸から得ていることを理解しようとする。</p>			
		遺伝情報とDNA	<p>a:DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見出す。また、塩基の相補性とDNAの複製を関連づけて理解する。</p>			
		遺伝情報の複製と分配	<p>b: DNA 性質や構造を科学的に考察することができる。DNAの複製から分配までを理解している。</p> <p>c:DNAの性質や構造をDNAの研究史とともに理解しようとする。細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製される仕組みを見いだし理解しようとする。</p>			
		遺伝情報の発現	<p>a:DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。</p> <p>b:DNAの遺伝情報に基づいて、タンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。</p> <p>c:DNAの遺伝情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとしている。</p>			
2学期	ヒトの体内環境の維持	体内での情報伝達と調節	<p>a:ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系があることを理解する。そして、体内環境が一定の範囲に保たれることを理解している。</p> <p>b:自律神経系や内分泌系の働き</p>	定期考査 小テスト 行動観察 発言 発表	発言 発表 小テスト 定期考査 レポート課題	行動観察 発言 発表 レポート課題 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

		体内環境の維持の仕組み	<p>によって、結党量が一定に保たれることを考察できる。</p> <p>c:外部の環境が変化しても、体内環境は一定に保たれることを理解しようとしている。資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節される仕組みを見だし、理解しようとしている。</p>			
		免疫の働き	<p>a:免疫に関する資料に基づいて異物を排除する防御機構が備わっていることを見出し理解する。</p> <p>b: 病原体を認識、排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。</p> <p>c: 病原体を認識、排除する機構のしくみを理解しようとしている。</p>			
3 学期	生物多様性と生態系	植生と遷移	<p>a:陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生が見られ、植物を取り巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。また、地球上には気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。</p>	定期考査 小テスト 行動観察 発言 発表	発言 発表 小テスト 定期考査 レポート課題	行動観察 発言 発表 レポート課題 振り返りシート
		植生の分布とバイオーム	<p>b:植生の成り立ちが、林内の光環境や植物の光に対する特性、土壌の発達段階に影響を受けていることが考察できる。また、気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは、バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し、それを表現することができる。</p> <p>c:資料に基づいて、植生が変化する要因を見だし、その要因が植生にどのような影響を与えるかを理解しようとする。</p>			

※令和4年度以降入学生用

		生態系と生物の多様性	a:生物が多様であること、また多様な生物が生態系内でどのようにかかわりあっているかを理解している。生態系のバランスや生態系の保全の重要性について理解している。			
		生態系のバランスと保全	b:生物の多様性を食物網と関連付けて説明できる。生態系の保全の重要性について、生物多様性の視点から考察することができる。 c:生態系において、物質が循環すること及びそれに伴ってエネルギーが移動することを理解しようとしている。また、生態系のバランスや生態系の保全することが重要であることを理解している。			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	3001
------	------

令和4年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	1	All Aboard Communication I

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

音読を中心とした授業を展開します。声に出して英語を発し、それを次自分の耳で何度も繰り返し聴くことで音に慣れます。表現を用いて、自分に関することを話したり、書いたりしてみましょう。教科書の教材を読んで、異文化への関心を高め、多文化共生の理念を深めてください。

2 学習の到達目標 (「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標)

【第1学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと



※令和4年度以降入学生用

学習到達目標	理解した内容について、情報の要点や考え、気持ちをまとめたり、伝えたりするために、紹介や報告、対話などの日常的话题や社会的な話題について、話される速さや、使用する語句や文、事前準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、話された文章を聞いて、必要な情報や話し手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	理解した内容について、情報の要点や考え、気持ちをまとめたり、伝えたりするために、紹介や報告、対話などの日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、事前準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、書かれた文章から、必要な情報、書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	理解した内容について、情報を説明したり、考えや気持ちを伝えたりするために、紹介や報告、対話などの日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、事前準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたことを読みだしたりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを賛成や反対の立場から、理由や根拠とともに話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合うことができる。	理解した内容について、情報を整理して説明したり、考えや気持ちを伝えたりするために、紹介や報告、対話などの日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、事前準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたことを読みだしたりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。	理解した内容について、情報を整理して説明したり、考えや気持ちを伝えたりするために、紹介や報告、対話などの日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、事前準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたことを読みだしたりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	習った英単語の日本語訳や綴りがわかる。 本文の趣旨を読み取り、文法的に理解することができる。 本文を音読できる。	習った英語表現を聞き取り理解が出来る。 基本的な英語表現を用いて作文できる。 また、自分が英作したものを発表することができる。	提出物を加点分まで粘り強く取り組むことが出来る。 基本的な英語表現を用いてより高度なレベルの英作に取り組むことが出来る。 プレゼンテーションにおいて、聞き手を意識した発表をすることができる。 向上心を持ち、各考査に臨んでいる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

--	--	--	--	--

※令和4年度以降入学生用

学期	課	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Lesson1 私の朝ごはん	聞くこと	a: 動詞の過去形を用いた文の形・意味を理解している。 b: 世界の朝食を紹介するスピーチや、好きな食べ物についての対話の概要を捉えている。 c: 世界の朝食を紹介するスピーチや、好きな食べ物についての話の概要を捉えようとしている	定期テスト 単語テスト
		読むこと	a: 動詞の過去形を用いた文の形・意味を理解している。 b: 世界の朝食について書かれた文章の概要を捉えている。 c: 世界の朝食について書かれた文章の概要を捉えようとしている。	定期テスト
		話すこと [やり取り]	a: 世界の朝食について学んだ事柄や、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 b: おたがいについてよりよく知るために、世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを伝え合っている。 c: おたがいについてよりよく知るために、世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを伝え合おうとしている。	スピーチテスト 音読テスト
		書くこと	a: 世界の朝食について学んだ事柄や、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 b: 好きな食べ物について紹介するために、世界の朝食について学んだ事柄を用いて、自分の考えや好み、その理由などについて書いている。 c: 好きな食べ物について紹介するために、世界の朝食について学んだ事柄を用いて、自分の考えや好み、その理由などについて書こうとしている。	ライティングテスト
中間考査				
1 学期	Lesson2 人なつっこい 野生動物	聞くこと	a: 進行形<be 動詞+動詞の-ing 形>を用いた文の形・意味を理解している。 b: オーストラリアに生息する珍しい野生動物を紹介するスピーチや好きな動物について話される対話の概要を捉えている。 c: オーストラリアに生息する珍しい野生動物を紹介するスピーチや好きな動物について話される対話の概要を捉えようとしている。	定期テスト 単語テスト
		読むこと	a: 進行形<be 動詞+動詞の-ing 形>を用いた文の形・意味を理解している。 b: オーストラリアに生息する珍しい野生動物について書かれた文章の概要を捉えている。 c: オーストラリアに生息する珍しい野生動物について書かれた文章の概要を捉えようとしている。	定期テスト
		話すこと [やり取り]	a: オーストラリアに生息する珍しい野生動物クオッカについて学んだ事柄や、好きな動物について自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 b: おたがいについてよりよく知るために、オーストラリアに生息する珍しい野生動物クオッカについて学んだ事柄を用	スピーチテスト 音読テスト

※令和4年度以降入学生用

			<p>いて、好きな動物について自分の考えや好み、その理由などを伝え合っている。</p> <p>c:おたがいについてよりよく知るために、オーストラリアに生息する珍しい野生動物クオッカについて学んだ事柄を用いて、好きな動物について自分の考えや好み、その理由などを伝え合おうとしている。</p>	
		書くこと	<p>a: オーストラリアに生息する珍しい野生動物クオッカについて学んだ事柄を用いて、好きな動物について自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。</p> <p>b:好きな動物について紹介するために、オーストラリアに生息する珍しい野生動物クオッカについて学んだ事柄を用いて、自分の考えや好み、その理由などを書いている。</p> <p>c:好きな動物について紹介するために、オーストラリアに生息する珍しい野生動物クオッカについて学んだ事柄を用いて、自分の考えや好み、その理由などを書こうとしている。</p>	ライティングテスト
		期末考査		
2 学期	Lesson3	聞くこと	<p>a: 助動詞 <b>can, will</b> を用いた文の形・意味を理解している。</p> <p>b: ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて話されるスピーチや対話の概要を捉えている。</p> <p>c ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて話されるスピーチや対話の概要を捉えようとしている。</p>	定期テスト 単語テスト
		読むこと	<p>a: 助動詞 <b>can, will</b> を用いた文の形・意味を理解している。</p> <p>b: 東日本大震災で被災した三陸鉄道で働く列車運転士の職業観などについて書かれた文章の概要を捉えている。</p> <p>c:東日本大震災で被災した三陸鉄道で働く列車運転士の職業観などについて書かれた文章の概要を捉えようとしている。</p>	定期テスト
		話すこと 【発表】	<p>a: 助動詞 <b>can, will</b> を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>b: 列車運転士の職業観などについて読んだ内容を使いながら、ある場所への行き方とそこでできることについて、学んだ情報を整理して話している。</p> <p>c: 列車運転士の職業観などについて読んだ内容を使いながら、ある場所への行き方とそこでできることについて、学んだ情報を整理して話そうとしている。</p>	プレゼンテーション 音読テスト
		書くこと	<p>a: 助動詞 <b>can, will</b> を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>b: ある場所への行き方とそこでできることについて紹介するために、自分の考えなどについて書いている。</p> <p>c: ある場所への行き方とそこでできることについて紹介するために、自分の考えなどについて書こうとしている。</p>	ライティングテスト
	Lesson4	聞くこと	<p>a: <b>to 不定詞(to+動詞の原形)</b>を用いた文の形・意味を理解している。</p> <p>b: 行ってみたい場所や今週末にやりたいことについて話されるスピーチや対話の概要を捉えている。</p>	定期テスト 単語テスト

※令和4年度以降入学生用

		c: 行ってみたい場所や今週末にやりたいことについて話されるスピーチや対話の概要を捉えようとしている。	
	読むこと	a: to 不定詞〈to+動詞の原形〉を用いた文の形・意味を理解している。 b: ポリビアのウユニ塩原の様子などについて書かれた文章の概要を捉えている。 c: ポリビアのウユニ塩原の様子などについて書かれた文章の概要を捉えようとしている。	定期テスト
	話すこと [発表]	a: to 不定詞〈to+動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 b: ポリビアのウユニ塩原について読んだ内容を使いながら、行ってみたい場所や、そこでやりたいことなどについて、学んだ情報を整理して話している。 c: ポリビアのウユニ塩原について読んだ内容を使いながら、行ってみたい場所や、そこでやりたいことなどについて、学んだ情報を整理して話そうとしている。	プレゼンテーション 音読テスト
	書くこと	a: to 不定詞〈to+動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 b: 行ってみたい場所や、そこでやりたいことなどについて紹介するために、自分の考えや、その理由について書いている。 c: 行ってみたい場所や、そこでやりたいことなどについて紹介するために、自分の考えや、その理由について書こうとしている。	ライティングテスト
中間考査			
Lesson5	聞くこと	a: 動名詞〈動詞の-ing 形〉を用いた文の形・意味を理解している。 b: 将来の夢や、先週末に楽しんだことについて話されるインタビューや対話の概要を捉えている。 c: 将来の夢や、先週末に楽しんだことについて話されるインタビューや対話の概要を捉えようとしている。	定期テスト 単語テスト
	読むこと	a: 動名詞〈動詞の-ing 形〉を用いた文の形・意味を理解している。 b: 水族館部のあるユニークな高校の様子や部員の活動などについて書かれた文章の概要を捉えている。 c: 水族館部のあるユニークな高校の様子や部員の活動などについて書かれた文章の概要を捉えようとしている。	定期テスト
	話すこと [やり取り]	a: 動名詞〈動詞の-ing 形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 b: おたがいについてよりよく知るために、クラブ活動や将来の夢、先週末に楽しんだことについて伝え合っている。 c: おたがいについてよりよく知るために、クラブ活動や将来の夢、先週末に楽しんだことについて伝え合おうとしている。	スピーチテスト 音読テスト
	書くこと	a: 動名詞〈動詞の-ing 形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 b: 将来の夢について紹介するために、自分の考えや、その理由について書いている。	ライティングテスト

※令和4年度以降入学生用

			c: 将来の夢について紹介するために、自分の考えや、その理由について書こうとしている。						
Lesson6	聞くこと	a: 受け身〈be 動詞＋過去分詞〉を用いた文の形・意味を理解している。	b: 好きな絵の紹介とその理由についてのスピーチや対話の内容と、ものに焦点をあてて「〇〇は...される」という説明の概要を捉えている。	c: 好きな絵の紹介とその理由についてのスピーチや対話の内容と、ものに焦点をあてて「〇〇は...される」という説明の概要を捉えようとしている。	定期テスト 単語テスト				
		読むこと				a: 受け身〈be 動詞＋過去分詞〉を用いた文の形・意味を理解している。	b: 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳の浮世絵などについて書かれた文章の概要を捉えている。	c: 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳の浮世絵などについて書かれた文章の概要を捉えようとしている。	定期テスト
		話すこと [発表]				a: 受け身〈be 動詞＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。	b: 歌川国芳の浮世絵について読んだ内容を使いながら、好きな絵とその理由について、学んだ情報を整理して話している。	c: 歌川国芳の浮世絵について読んだ内容を使いながら、好きな絵とその理由について、学んだ情報を整理して話そうとしている。	プレゼンテーション 音読テスト
		書くこと				a: 受け身〈be 動詞＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。	b: 好きな絵について紹介するために、自分の考えや、その理由について書いている。	c: 好きな絵について紹介するために、自分の考えや、その理由について書こうとしている。	ライティングテスト
	期末考査								
学年末	Lesson7	聞くこと	a: 比較表現〈-er〉〈the -est〉〈as＋原級＋as〉を用いた文の形・意味を理解している。	b: アンネ・フランクの生活と彼女が書いた日記の影響について紹介する授業や、関心のある人物についてのスピーチや対話の概要を捉えている。	c: アンネ・フランクの生活と彼女が書いた日記の影響について紹介する授業や、関心のある人物についてのスピーチや対話の概要を捉えようとしている。	定期テスト 単語テスト			
		読むこと	a: 比較表現〈-er〉〈the -est〉〈as＋原級＋as〉を用いた文の形・意味を理解している。	b: アンネ・フランクの生活と彼女が書いた日記の影響について紹介する授業について書かれた文章の概要を捉えている。	c: アンネ・フランクの生活と彼女が書いた日記の影響について紹介する授業について書かれた文章の概要を捉えようとしている。	定期テスト			

※令和4年度以降入学生用

	<p><b>話すこと</b> [発表]</p>	<p>a: アンネ・フランクについて学んだり, 関心のある人物について自分で調べた事柄を整理・理解している。</p> <p>b: アンネ・フランクについて学び, 関心のある人物について自分で調べた事柄を用いて, 関心のある人物について整理して話している。</p> <p>c: アンネ・フランクについて学び, 関心のある人物について自分で調べた事柄を用いて, 関心のある人物について整理して話そうとしている。</p>	<p>プレゼンテーション 音読テスト</p>
	<p><b>書くこと</b></p>	<p>a: アンネ・フランクについて学び, 関心のある人物について自分で調べた事柄を整理・理解している。</p> <p>b: アンネ・フランクについて学び, 関心のある人物について自分で調べた事柄を用いて, 関心のある人物について書いている。</p> <p>c: アンネ・フランクについて学び, 関心のある人物について自分で調べた事柄を用いて, 関心のある人物について書こうとしている。</p>	<p>ライティングテスト</p>
<p>学年末考査</p>			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	3001
------	------

令和4年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位	年次	1年次
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館書店出版)						
副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館書店出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康・安全について理解しよう。</li> <li>・健康的な生活行動について学ぶ。</li> <li>・日常生活で直面する健康課題を知り、その解決方法を考える。</li> <li>・自身の生活習慣を見直し、健康の維持増進に努められるようになろう。</li> <li>・健康的な生活習慣を身につけられるようになろう。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標

<p>《知識・技能》現代社会における様々な健康課題を理解し、自らの健康の保持増進に向けての正しい知識を身に付けている。</p> <p>《思考・判断・表現》健康に関する諸問題に関して、社会としての課題・自己の健康課題について考えを述べることができる。また課題解決に向けての方法も自らの言葉で表現できる。</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》健康に関する諸問題に関して、積極的に学習に取り組むことに加え、他人の意見も取り入れながら実践しようとしている。具体的には、授業にまじめに参加し、ノートや提出物をしっかり記入することに加え、グループワーク等に協力的に取り組む。</p>
---

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・理解	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、それらの内容にかかわる技術を身につけている。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進に努められるよう、自らの知識だけでなく仲間と意見を交換し、課題解決に取り組もうとしている。

※令和4年度以降入学生用

評価方法	定期テスト ワークシート 観察	定期テスト ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 観察	ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 観察
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の考え方と成り立ち</li> <li>・私たちの健康のすがた</li> <li>・生活習慣病の予防と回復</li> <li>・がんの原因と予防</li> <li>・がんの治療と回復</li> <li>・運動と健康</li> <li>・食事と健康</li> <li>・休養、睡眠と健康</li> </ul>	○	○	○	<p>a:健康の考え方を理解している。社会の変化にとまない健康問題も大きく変わっていることを認識し、現代の健康問題を的確にとらえるとともに、生涯にわたって健康を保持増進していくための知識や技能を身につけている。</p> <p>b:健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなどの判断をしたりするとともに、それらを他者に表現することができる。</p> <p>C:健康に関心をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を整えることが重要であることを理解し、日常生活に活かそうとしている。</p> <p>また、ヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題に関して理解し、その解決に向けて思考・判断・表現しようとしている。</p>	<p>a 定期テスト(知識問題)</p> <p>b 定期テスト(思考問題)</p> <p>ワークシート観察</p> <p>c 提出物の提出状況やその内容</p> <p>c 授業時の態度や忘れ物の状況</p> <p>cグループワーク時の取り組みや日々の授業時の観察</p>



※令和4年度以降入学生用

2 学期	現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙と健康</li> <li>・飲酒と健康</li> <li>・薬物乱用と健康</li> <li>・精神疾患の特徴</li> <li>・精神疾患の予防</li> <li>・精神疾患からの回復</li> <li>・現代の感染症</li> <li>・感染症の予防</li> <li>・性感染症・エイズとその予防</li> </ul>	○	○	○	<p>a:現代の健康問題には飲酒や喫煙などの日常生活が大きく影響していることを理解している。精神疾患は誰にでも起こりうることであり、さまざまな症状があることを理解している。感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられ、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。</p> <p>b:内容について、課題解決に向けた取り組みを行っており、自分の考えやグループの意見を他者に伝えることができる。</p> <p>c:健康に関心を持ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を整えることが重要であることを理解し、日常生活に活かそうとしている。</p> <p>また、ヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題に関して理解し、その解決に向けて思考・判断・表現しようとしている。</p>	<p>a 定期テスト (知識問題)</p> <p>b 定期テスト (思考問題) ワークシート 観察</p> <p>c 提出物の提出状況やその内容</p> <p>c 授業時の態度や忘れ物の状況</p> <p>cグループワーク時の取り組みや日々の授業時の観察</p>
3 学期	現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に関する意思決定行動選択</li> <li>・健康に関する環境づくり</li> </ul>	○	○	○		
	安全な社会生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の現状と発生要因</li> <li>・安全な社会の形成</li> <li>・交通における安全</li> <li>・応急手当の意義とその基本</li> <li>・日常的な応急手当</li> <li>・心肺蘇生法</li> </ul>	○	○	○	<p>a:安全な社会の形成に必要な内容を理解し、交通安全などと関連させて考えることができる。また、応急手当てにおいても日常生活と関連させ、適切な処置ができるよう技術を身につけている。</p> <p>b:・安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付け、安全な社会を形成するための課題を発見し、課題解決に向けて自分の考えを表現したり、仲間と意見交換したりしている。</p> <p>C: 事故等の発生には人的要因及び環境要因が関わることを踏まえ、個人の取組に加えて社会的な取組が求められることを理解しようとするとともに、実際の対処方法などの技術を身につけようとしている。</p>	<p>a 定期テスト (知識問題)</p> <p>b 定期テスト (思考問題) ワークシート 観察</p> <p>c 提出物の提出状況やその内容</p> <p>c 授業時の態度や忘れ物の状況</p> <p>cグループワーク時の取り組みや日々の授業時の観察</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

学校番号	3001
------	------

令和4年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	年次	1年次女子
使用教科書	なし						
副教材等	イラストでみる最新スポーツルール 2022 (大修館書店出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団行動や各種目を通じて、能力に応じた基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を身につけよう。</li> <li>・自他の運動を観察し、身体活動に対する興味・関心を高め、運動の楽しさや喜びを心身で感じよう。</li> <li>・体育の授業を通して、スポーツとの様々な関わり方を理解し、自身のスポーツライフに関して考えよう。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

<p>《知識・技能》競技に必要な基礎的知識及び技能を身に付け、健康や安全に留意して実践することができる。</p> <p>《思考・判断・表現》多角的な視点からレポートを作成したり、基礎的な技術を基にして自らの動きを見つめ、改善につなげたりすることができる。</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》自らの体調や時間を管理し、授業の約束やルール・マナーを守りながら、仲間と協力したり、時にはリーダーシップを発揮したりすることができる。</p>
---

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	各運動の特性を理解し、運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。ルールやマナーについても自己や仲間と考え提案できる。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、個人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評 価 方 法	受講態度の観察 技能試験・筆記試験 等	授業態度の観察 課題の発表観察 等	授業態度の観察 等

※令和4年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	集団行動 体づくり運動	オリエンテーション 集団行動 新体力テスト	○	○	○	a:各運動の特性を理解し、運動の方法・体力の高め方を理解している。 B:自らの体力を分析し、どのように体力を高めていくか考え・表現することができている。 C:用具の使用方法など、安全に留意した活動を行おうとしている。 また、グループ活動においては自己の役割を果たそうとし、積極的に関わっている。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト
	陸上競技	短距離走 ハードル走	○	○	○	a:運動の特性や用具・スキルの名称を理解し、目標設定タイムに近づけることができている。 b:自己や仲間の課題を分析し、課題克服に向けた練習方法を考察し、実践しようとしている。 C:用具の準備・使用方法など、安全に留意して活動しようとしている。仲間のアドバイス等を受け入れ、技能向上に努めようとしている。	授業観察 技能テスト レポート課題 受講態度の観察

※令和4年度以降入学生用

2 学期	水 泳	クロール 平泳ぎ	○	○	○	<p>a：泳法の名称等を理解し、設定した目標タイムおよび距離を複数の泳法で泳ぐことができている。</p> <p>b：泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</p> <p>C：安全の確保に十分留意し、事故のおこらないよう活動している。課題克服に向け、仲間たちと意思疎通しながら取り組みようとしている。</p>	<p>受講態度の 観察 技能テスト</p>
2 学期	球 技 ゴ ー ル 型 バ ー ス ボ ー ル 型	ゴール型 バスケットボール ベースボール型 ソフトボール	○	○	○	<p>a：各種目の特性を理解し、場面に応じたスキルや戦術を実践できている。</p> <p>b：自己や仲間の課題を分析し、課題克服に向けた練習方法を考察し、実践しようとしている。</p> <p>c：用具の使用方法など、安全に留意した活動を行おうとしている。 また、グループ活動においては自己の役割を果たし、チームとして課題が克服できるよう分析・実践しようとしている。</p>	<p>授業態度の 観察 技能テスト 筆記テスト</p>
3 学期	陸 上 競 技	陸上競技 長距離走	○	○	○	<p>a：長距離走の特性を理解し、定められた距離を一定のペースで走ることができる。また、設定タイムに近いタイムで走ることができる。</p> <p>b：健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な参加方法等について考え、判断できている。</p> <p>C：自己の体調や技能の程度に応じた目標設定や課題設定をしようとしている。</p>	<p>受講態度の 観察 技能観察</p>
1・2・3 学期	体 育 理 論	各種目	○	○	○	<p>a:競技の成り立ちやルール・基礎的な技能について理解している。</p> <p>b:基礎的な知識をもとに、健康や安全に留意した取り組み方を試行錯誤したり、レポートを作成したりすることができる。</p> <p>c:教員や仲間の話をしっかりと聞き、理解に努めようとする姿勢がみられる。</p>	

※令和4年度以降入学生用

※ 表中の観点について a:知識・技能      b:思考・判断・表現  
c:主体的に学習に取り組む態度

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

学校番号	3001
------	------

令和4年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	年次	1年次男子
使用教科書	なし						
副教材等	イラストでみる最新スポーツルール 2022 (大修館書店出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団行動や各種目を通じて、能力に応じた基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を身につけよう。</li> <li>・自他の運動を観察し、身体活動に対する興味・関心を高め、運動の楽しさや喜びを心身で感じよう。</li> <li>・体育の授業を通して、スポーツとの様々な関わり方を理解し、自身のスポーツライフに関して考えよう。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

<p>《知識・技能》競技に必要な基礎的知識及び技能を身に付け、健康や安全に留意して実践することができる。</p> <p>《思考・判断・表現》多角的な視点からレポートを作成したり、基礎的な技術を基にして自らの動きを見つめ、改善につなげたりすることができる。</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》自らの体調や時間を管理し、授業の約束やルール・マナーを守りながら、仲間と協力したり、時にはリーダーシップを発揮したりすることができる。</p>
---

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	各運動の特性を理解し、運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。ルールやマナーについても自己や仲間と考え提案できる。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、個人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評 価 方 法	受講態度の観察 技能試験・筆記試験 等	授業態度の観察 課題の発表観察 等	授業態度の観察 等

※令和4年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	集団行動 体づくり運動	オリエンテーション 集団行動 新体力テスト	○	○	○	a:各運動の特性を理解し、運動の方法・体力の高め方を理解している。 B:自らの体力を分析し、どのように体力を高めていくか考え・表現することができている。 C:用具の使用方法など、安全に留意した活動を行おうとしている。 また、グループ活動においては自己の役割を果たそうとし、積極的に関わっている。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト
	球技	ソフトボール バスケットボール	○	○	○	a:各種目の特性を理解し、場面に応じたスキルや戦術を実践できている。 b:自己や仲間の課題を分析し、課題克服に向けた練習方法を考察し、実践しようとしている。 c:用具の使用方法など、安全に留意した活動を行おうとしている。 また、グループ活動においては自己の役割を果たし、チームとして課題が克服できるよう分析・実践しようとしている。	授業観察 技能テスト レポート課題 受講態度の観察

※令和4年度以降入学生用

2 学期	水 泳	クロール 平泳ぎ	○	○	○	<p>a：泳法の名称等を理解し、設定した目標タイムおよび距離を複数の泳法で泳ぐことができている。</p> <p>b：泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</p> <p>C：安全の確保に十分留意し、事故のおこらないよう活動している。課題克服に向け、仲間たちと意思疎通しながら取り組みようとしている。</p>	<p>受講態度の 観察 技能テスト</p>
2 学期	球 技	卓球 サッカー	○	○	○	<p>a：各種目の特性を理解し、場面に応じたスキルや戦術を実践できている。</p> <p>b：自己や仲間の課題を分析し、課題克服に向けた練習方法を考察し、実践しようとしている。</p> <p>c：用具の使用方法など、安全に留意した活動を行おうとしている。 また、グループ活動においては自己の役割を果たし、チームとして課題が克服できるよう分析・実践しようとしている。</p>	<p>授業態度の 観察 技能テスト 筆記テスト</p>
3 学期	陸 上 競 技	陸上競技 長距離走	○	○	○	<p>a：長距離走の特性を理解し、定められた距離を一定のペースで走ることができる。また、設定タイムに近いタイムで走ることができる。</p> <p>b：健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な参加方法等について考え、判断できている。</p> <p>C：自己の体調や技能の程度に応じた目標設定や課題設定をしようとしている。</p>	<p>受講態度の 観察 技能観察</p>
1・2・3 学期	体 育 理 論	各種目	○	○	○	<p>a:競技の成り立ちやルール・基礎的な技能について理解している。</p> <p>b:基礎的な知識をもとに、健康や安全に留意した取り組み方を試行錯誤したり、レポートを作成したりすることができる。</p> <p>c:教員や仲間の話をしっかりと聞き、理解に努めようとする姿勢がみられる。</p>	



※令和4年度以降入学生用

※ 表中の観点について a:知識・技能      b:思考・判断・表現  
c:主体的に学習に取り組む態度

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

学校番号	3001
------	------

令和4年度 美術科

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	美術 1 (光村図書)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<p>芸術作品は色と形で成り立っています。「色と形」を意識した課題を基礎から応用へと展開します。          1学期…構成力の育成と、道具の扱いなどを通して表現する力を育てる。          2学期…鉛筆による描写や粘土による立体物など、より繊細な技術技法を通して技能を磨く。          3学期…テーマに沿って表現する力を育てる。          段階を踏まえた指示に留意し、ただ描くのではなく目的を意識してください。</p>
---

2 学習の到達目標

<p>a: 知識・技能…美術の幅広い活動を通して、形や色などがもたらす効果や造形的な特徴などをもとに表現を工夫して創造的に表すことができる。          b: 思考・判断・表現…感じ取ったことや自分の思いから主題を生成し、材料の特性を生かした表現方法について考え、創造的な表現の構想を練ることができる。          c: 主体的に学習に取り組む態度…主体的に表現方法やそれによる効果などを追求して、創造活動に取り組むことができる。</p>
---

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 知識・技能	b: 思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	形や色などがもたらす効果や造形的な特徴などをもとに、表現を工夫して創造的に表している。	感じ取ったことや自分の思いから主題を生成し、材料の特性を生かした表現方法について考え、創造的な表現の構想を練っている。	主体的に表現方法やそれによる効果などを追求して、創造活動に取り組もうとしている。
評 価 方 法	制作途中の作品 完成した作品 鑑賞活動の様子 オンラインでのテスト ワークシート	制作の様子 制作途中の作品 完成した作品 ワークシート	ワークシート 授業中の様子
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。                  学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一 学 期	美術 っ て な ん だ ろ う	【観賞】 ・オリエンテーション 教科書の内容から多様な表現形式について学び、「美術I」の学習イメージを持つ。 授業の受け方、作品制作における心得等	a: 形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、作品を全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。  c: :主体的に美術作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、それぞれの創造的な表現の工夫などについて考える創造活動に取り組もうとしている。	学習プリント		学習活動の様子
	色彩基礎	【デザイン】 ・色彩基礎 絵の具を用いながら色彩の効果を学ぶ。また、絵の具の扱い方を知り、表現に合わせて使い分ける。	a: 主題に応じて絵の具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。  c: 主体的に絵の具による表現の工夫やその効果を生かした創造活動に取り組もうとしている。	完成作品		学習活動の様子  ワークシート
	色彩構成①	【デザイン】【観賞】 ・グラデーションや補色など、与えられた主題に沿って絵の具で美しい平面構成を描く。	a: 形や色などが感情にもたらす効果や、配色や構成などの造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや効果的な伝達のデザインについて理解している。  b: デザインの目的や機能、調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。  c: 主体的に形や色の効果や構成について考え、デザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。	前回までの復習プリント  完成作品	制作の様子  ワークシート	学習活動の様子  ワークシート

※令和4年度以降入学生用

	色彩構成②	<p><b>【デザイン】</b></p> <p>・ローラーやスパッタリング、デカルコマニーなど絵の具の多様な技法を用いて、色画用紙を自由に色づけ、美しい模様を描く。</p>	<p>a:意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現の形態や方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。</p> <p>b:感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、形や色、材料の質感や量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c:主体的に視覚的な美しさや面白さについて考え、それらをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。</p>	完成作品	制作の様子  ワークシート	学習活動の様子  ワークシート
二学期	ギフトカード	<p><b>【デザイン】【鑑賞】</b></p> <p>・学校見学会に参加する中学生のために立体的なギフトカードを制作する。これまで制作したオリジナル色画用紙などを用いて、色彩豊かなカードを作る。</p>	<p>a: 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法などを工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。</p> <p>b: ギフトカードの美しさや使用目的などから主題を生成し、形や色の組み合わせの効果やカードの機能などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c: 主体的にギフトカードやその使用目的について考え、形や色、構造を工夫してギフトカードをデザインする表現の創造活動に取り組もうとしている。</p>	1 学期の振り返り 小テスト  完成作品	制作の様子  ワークシート	学習活動の様子  ワークシート

※令和4年度以降入学生用

抽象的な立体表現	<p><b>【彫刻】【観賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石粉粘土で、自分の感情や感覚を表す抽象的な立体作品を制作する。</li> <li>・教科書での鑑賞</li> </ul>	<p>a: 主題に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、立体であらわす表現の方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。</p> <p>b: 自分の感情や感覚から主題を生成し、材料の特性を生かし、質感や量感、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c: 主体的に自己の感情や感覚を追求し、表現を工夫して創造活動に取り組もうとしている。</p>	完成作品	制作の様子  ワークシート	学習活動の様子  ワークシート
デッサン基礎	<p><b>【絵画】【素描】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆素描によるグラデーション表現</li> <li>・鉛筆素描で立体物の陰影を表現し、立体的に描く。</li> </ul>	<p>a: 意図に応じて鉛筆の特性を生かすとともに、表現方法を工夫して創造的にあらわしている。</p> <p>c: 主体的に鉛筆ならではの効果などを追求して、表現の創造活動に取り組もうとしている。</p>	完成作品		学習活動の様子  ワークシート
デッサン応用	<p><b>【絵画】【素描】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆による複雑な素描</li> <li>著名な人物の写真を鉛筆素描で模写する。</li> </ul>	<p>a: 意図に応じて鉛筆の特性を生かすとともに、神や皮膚の質感などの表現を工夫し、主題となる人物を追求して創造的にあらわしている。</p> <p>c: 主体的に主題となる人物を見つめ、感じ取った特徴や印象をもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。</p>	完成作品	制作の様子  ワークシート	学習活動の様子  ワークシート

※令和4年度以降入学生用

三学期	色彩構成③	<p><b>【デザイン】【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフィックデザイン</li> </ul> <p>園芸高校のロゴの入ったポスターを想定し、美しい構成のデザインを制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書及び相互鑑賞</li> </ul>	<p>a:シンメトリーやアクセントなど平面構成の技法による視覚的効果や主題にそったデザインを理解し、意図に応じて用具の使い方を工夫し、創造的にあらわしている。</p> <p>b: 園芸高校のポスターとして効果的な表現形態や文字の配置, 構成, 配色などについて考え, 創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c: 主体的にデザインの目的や調和のとれた美しさについて考え, 効果的に内容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。</p>	<p>これまでの振り返り小テスト</p> <p>完成作品</p>	<p>制作の様子</p> <p>ワークシート</p>	<p>学習活動の様子</p> <p>ワークシート</p>
-----	-------	---	--	----------------------------------	----------------------------	------------------------------

※年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	3001
------	------

令和4年度 音楽科

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	音楽 I Tutti+ (教育出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歌うこと」「楽器を演奏すること」の分野を年間通して学習します。</li> <li>・音や音楽のよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養います。</li> <li>・学習の到達度は、実技テストや普段の授業への取り組みで評価します。</li> <li>・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標

<p>a: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付け、創造的に表している。</p> <p>b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: 音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。</p>
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 知識・技能	b: 思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
評 価 方 法	実技テスト 学習プリント	実技テスト 学習活動の様子 学習プリント	学習活動の様子 提出物 ワークシート
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	日本語の美しい語感を生かして表現	<p><b>【歌唱】</b> 校歌 翼をください ふるさと 心の瞳 (斉唱)</p> <p><b>【鑑賞】</b> 教材のCDを聞き歌い方や表現を参考にし、表現の創意工夫する 雅楽等の鑑賞により伝統的な技法も学ぶ。</p>	<p>a: 日本語の抑揚、アクセント、リズムなどの言葉の特性や特徴について理解し、それを生かして表している。</p> <p>b: リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p>c: 日本語の抑揚、アクセント、リズムなどの言葉の特性を感じ取り、自己のイメージをもって旋律をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>	学習プリント	学習プリント	学習活動の様子  ワークシート
	メロディーを美しく正確に表現しよう	<p><b>【器楽】</b> アルトリコーダーの学習</p>	<p>a: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽のよさや美しさ表現しようとしている。</p> <p>c: リズム譜を読譜し、音色や響きを楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	実技テスト	実技テスト  ワークシート  学習活動の様子	学習活動の様子  ワークシート



※令和4年度以降入学生用

二学期	く 旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう  イタリア民謡をイタリア語で歌おう	<p><b>【歌唱】</b> サンタルチア オーソレミオ</p> <p><b>【鑑賞】</b> 教材の CD を聞き歌い方や表現を参考にし、表現の創意工夫する</p>	<p>a: イタリア語の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解し、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>b: 音色、リズム、旋律、強弱、構成やそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>c: イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>実技 テスト</p> <p>学習 プリント</p>	<p>実技 テスト</p> <p>ワークシート</p> <p>学 習 活 動 の 様 子</p>	<p>学習活動の様子</p> <p>ワークシート</p>
	ギターに挑戦！	<p><b>【器楽】</b> クラシックギターの基本的な奏法を学ぶ</p>	<p>a: 曲想とギターの音色との関わり、表現の特徴について理解している。正しい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成やそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、自己のイメージをもってどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>c: ギターの奏法を身に付けることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>実技 テスト</p> <p>学習 プリント</p>	<p>実技 テスト</p> <p>ワークシート</p> <p>学 習 活 動 の 様 子</p>	<p>学習活動の様子</p> <p>ワークシート</p>

※令和4年度以降入学生用

三学期	リコーダーアンサンブルとギターアンサンブルを楽しもう	<p>【器楽】</p> <p>威風堂々 リコーダー小曲集 ギター小曲集</p>	<p>a: 曲にふさわしい奏法, 身体の使い方などの技能, 他者との調和を意識して演奏する技能, 表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け, 器楽で表している。</p> <p>b: 音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 自己のイメージをもってどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>c: アンサンブル活動をすることに関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>実技 テスト</p> <p>学習プリント</p>	<p>実技 テスト</p> <p>ワークシート</p> <p>学習活動の様子</p>	<p>学習活動の様子</p> <p>ワークシート</p>
-----	----------------------------	---	---	---------------------------------	--	------------------------------

※ 表中の観点について

a:知識・技能

b:思考・判断・表現

c:主体的に学習に取り組む態度

※令和4年度以降入学生用